

No. 992

# 大空に舞う

## —長野—

新雪におおわれた長野県、白馬地方。冬のレジャーは何といってもスキー、今年は雪不足が心配されましたが新設されたばかりの、ここ五竜、遠見スキー場は雪も豊富で、スキーを楽しめています。

1月11日、延長2000メートルを越す大ゲレンデを利用して人間ダコを飛ばそうと、米国フライング・カイトの第一人者リチャード・ジョンソン氏(33)がやってきました。中日スタジアムの招きで来日したジョンソン氏は「スキーは余り上手ではない」と言いながらも雪の降りしきるゲレンデに飛び出します。アメリカの航空宇宙局の技師が考案したといわれる一辺の長さ4mの布製のコウモリ型タコを背に頂上からダイナミックな滑降です。20mを越すあたりから、人間ダコ、ジョンソン氏の体は空中にふわり、なだらかなスロープをゆっくり飛んでいきます。重心で方向転換も自由自在、『花に舞い降りるチョウ』さながらの着地です。

このフライング・カイトは突風による失速が一番怖いとか、アメリカでは昨年7人のカイトマンが死亡事故を起しています。日本には、5—6人のカイトマンがいるだけ、勇壮な人間ダコはまだ見るレジャーに終りそうです。

# リコー宿願の日本一

## —ラグビー日本選手権—

みぞれまじりの小雨降る東京・青山の秩父宮ラグビー場に約2万人の観衆を集めて行なわれた、リコー対明治大学の第10回ラグビー日本選手権。午後2時半、リコーのキック・オフで試合開始。ニュージーランドのオールブラックスをまねた真黒なユニホームのリコーは、スタートから猛然と明大陣営をゆるがす。平均80キロの重量FW明大も、押し返せば、リコー巧みなショートバントで攻める。前半4分、リコーは、明大陣25ヤードライン右のセットから左へ回し伊藤が左中間のインゴールへゴロバント。明大FBが相次いで押えそこなうスキに水谷がトライ。27分には明大ゴール前の相手ボールのセットからSH田中が右中間に飛び込んでトライ。32分にも明大陣10ヤードのセットからブライントドをつき平木が約40ヤード走って伊藤にバスしてトライ。12対0とリードしたなんとか反撃のチャンスをつかみたい明大、前半38分、リコーゴール前で、HB松尾が左へ回すと見せて、右の横山を走らせトライゴールを決めて12対6と追いあげた。しかし、後半に入つてからは、リコーの一的な試合となつた。後半3分、水谷のトライに次いで、18分、明大のキャリーバック後の5ヤードスクラムから村田が拾つて左中間にトライ。25分ペナルティーゴール、32分ポスト右に内田がトライと一気にたたみかけた。その間明大は重量FWも押され、後退ぎみ。追加点は、1回のペナルティーゴールだけ。終了寸前にも、リコーが右中間にダメ押しのトライ。結局予想を上回る35対9の大差で、ワザのリコーが、力の明大を下し優勝、宿願のラグビー日本一の栄光を勝ちとった。